

# サステナ評価機関に登録

## イノウエ、持続可能性数値化

ステンレス・高機能合金流通のイノウエ

(本社〓東京都千代田区、井上浩樹社長)はこのほど、サステナビリティの国際的な評価機関「ecovadis (エコバディス)」に登録した。同社のサ

ステナビリティ経営の一環。

エコバディスは、180カ国・220業種の企業が登録する情報共有プラットフォーム。サステナビリティ評価をバイヤーに提供している。具体的な

評価内容として「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」

の調査項目によって、企業の持続可能性を評価し、数値化するもの。イノウエは、終日テレワークの社員やリスキリングの支援、職場

環境改善など多様な働き方を支援している。加えて、三井住友銀行の二酸化炭素排出量算定・削減支援クラウドサービス「Sustana (サスタナ)」の導

入や、一般社団法人エシカル協会の法人会員にもなっている。

顧客から、サステナビリティについてさらなる取り組みを求められたこともあり、エコバディスに登録した。2023年から評

価を受けており、2年目となる今回は、スコアが6段階上昇しバッチを獲得した。今後も評価を高めるための施策を進めていく。

井上社長は「ISOの認証取得が当たり前となったように、サステナビリティなどに関する情報や取り組みが顧客から求められつつある。SDGスウォッシュユ(グリーンウォッシュユ)など、企業の取り組みに厳しい目が

向けられる中で、(適切な情報の開示などに)しっかりと取り組んでいきたい」と話す。

### 原子力供給網 基盤に参画

イノウエはこのほど、原子力サプライチェーンプラットフォーム(NSCP)に参画した。

NSCPは、戦略的な原子力人材の育成・確保、部品・素材の供給途絶対策、事業承継、

海外PJへの参画支援など、サプライチェーン全般に対する支援を行う。全国の原子力関連企業の個別の実情に応じた積極的なサポートも行う。

同社は1975年以降、素材販売などで原子力関連ユーザーと取引がある。近年ではエンジニアリング事業の強化により取引が拡大。これらのことからNSCPへの参画を決めた。